

第13回 耐火物の基礎学問研修

耐火物の基礎学問研修

耐火物並びに同関連産業の社員として働き始めた、或いは、中途採用で就職して期間が短い皆さんを対象として、耐火物の基礎技術を学ぶ研修会を開催します。

特に、本年は多くの方々の参加がいただけるよう会場を岡山市内に移し、2日間の講師と聴講者との懇親を図るため初日に交流会を企画しました。関係各位の多数の参加がいただけますようご案内します。

＜主催＞：一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団

＜共催＞：耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

■ 開催日程：2020年 5月21日(木)・22日(金)

■ 会場：ピュアティまきび (岡山市北区下石井2-6-41 TEL 086-232-0511)

■ 定員：	耐火物の基礎講座Ⅰ	耐火物の基礎講座Ⅱ	計	交流会
	130名	130名	延べ260名	80名

※ 収容人数とテキスト在庫に限りがありますので、定員に達した時点で締め切ります。

■ 参加費： (税込み)	区分	基礎講座Ⅰ	交流会(5/21)	基礎講座Ⅱ	全て参加の例
	会員	4,000円	5,500円	4,000円	13,500円
	会員外	8,000円		8,000円	21,500円

※ 今回、お弁当は準備いたしません、昼食休憩時間内で各自済ませて下さい。

※ ご希望に応じて各区分ごとに御参加いただけます。

■ 交流会：耐火物技術協会中国四国支部が主催して聴講者、関係者と講師との交流を図り、今後の仕事に役立つ人脈ネットワークの構築を目的としたものです。

■ テキスト代：1,426円+税 (TAIKABUTSU入門書第4版/2017年4月刊行)
800円+税 (TAIKABUTSU入門書第4版(2)別冊：断熱材、副資材編)

※但し、持参の場合は不要(下記※4)参照)

※1) 申込時に主催・共催団体の会員の有無をお示し下さい。(必要な講座のみ選択して御参加いただけます。)

※2) 参加費等は、2020年4月30日(木)までにお振込下さい。(申込書受領後請求書送付)

※ご入金確認後受講票送付します。

※3) 主なテキストは「TAIKABUTSU入門書第4版/2017年4月刊行(1,426円+税)」及び「断熱材、副資材編」(800円+税)を使用します。当日ご持参下さる方はテキスト代は不要となります。

但し、当日のみのテキスト貸出はできません御了承下さい。

※4) 会場へは、公共の交通機関をご利用ください。

■ 当日持参物：筆記用具、ノート等を持参下さい。

■ 注意事項：開始10分前には、会場に集合下さい。また、万一欠席される場合は、ご一報いただくと共に代理の方のご派遣をお願いします。

■ 申込方法：申込書に必要事項を御記載の上FAX又はメールにて、2020年4月17日(金)までに事務局へお申し込みください。

※申込書受領後、請求書送付致します。(入金確認後に受講票送付します。)

〒705-0021 岡山県備前市西片上1406-18 (一財)岡山セラミックス技術振興財団

TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 Email: erazoku@optic.or.jp 担当：川端(かわばた)

■ OGC見学：今回は会場変更のため岡山セラミックスセンターの見学はありませんが、御希望の方には、前日(20日(水)15時 OGC集合)に見学案内をいたします。

ご希望の方は申込時に御連絡下さい。(無料)

■ プログラム 見学会 (5月20日(水) 15:00 00Cセミナー室集合/解散) **無料**

岡山セラミックスセンター見学会 <備前市西片上 1406-18> 【スケジュール】 DVD鑑賞 10分、見学案内 30-40分 解散 16:00頃
--

■ プログラム 講義 I (5月21日(木))

日	時間	内容
耐火物の基礎講座 I 5/21(木)	9:20-9:25	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓
	9:25-10:40 (75分)	講義 1 「耐火物に用いられる各種原料の種類と用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 岡山製造部 窯炉技術室 主任部員 諏 訪 毅 TAIKABUTSU 入門書の内容をベースに耐火物で使用される各種原料の特徴について概説する。
	10:40-10:50	休憩 (10分)
	10:50-11:50 (60分)	講義 2 「耐火物の種類と特性-耐火れんがを中心に」 黒崎播磨株式会社 技術研究所 製品プロセス研究センター マネージャー 玉 木 健 之 定形耐火物の中で特に耐火れんがについて、「TAIKABUTSU 入門書 第2章」をテキストとして使用し、その種類や特性等の基本的な情報を講師の経験も適宜加味して概説する。
	11:50-12:35	昼食休憩 (45分)
	12:35-14:05 (90分)	講義 3 「不定形耐火物の基礎と応用」 日本特殊炉材株式会社 技術一部 基礎研究課課長 遠 藤 善 康 「TAIKABUTSU 入門書」をベースにキャストブル、プラスチック材、モルタル、吹付材を紹介する。主に、不定形耐火物で最も重要なキャストブルに使用されているセメントの特性について解説し、キャストブルの基本的な特性についても解説する。
	14:05-14:15	休憩(10分)
	14:15-15:30 (75分)	講義 4 「耐火断熱材料の基礎と断熱設計」 イソライト工業株式会社 取締役技術開発本部長 橋 本 敏 昭 高温用耐火断熱材の代表製品として耐火断熱れんが、不定形およびセラミックファイバー製品の種類、特徴、品質を解説し、断熱設計への適用事例を紹介する。更に RCF 代替製品の最新情報および高温用低熱伝導率製品の動向について説明する。
	15:30-15:40	休憩(10分)
	15:40-16:55 (75分)	講義 5 「耐火物の試験評価技術概説」 一般財団法人 岡山セラミックス技術振興財団 副所長 内 田 茂 樹 「耐火物入門書 第4版」の第11章に基づいて概説する。初心者が耐火物の評価試験に接して困惑することは、なぜそのような評価試験を、そのような条件で行うのかと言うことではないだろうか。当然実炉の状況が絡むであろうし、評価試験の原理的なことも絡むであろう。本講演では、初心者が思い、感じる疑問に応えながら、単に個々の評価試験法の紹介・概説だけでなく、本テーマが期待する評価試験の技術としての側面からの概説も行う。

■ 交流会

主催：耐火物技術協会中国四国支部

日	時 間	内 容
5/21 (木)	17:10-19:00 (110分)	2日間の講師に可能な限り多数参加していただき、聴講者、関係者との交流を図る簡単な交流会を企画しました。多数ご参加下さるようご案内します。

■ プログラム 講義Ⅱ (5月22日 (金))

日	時 間	内 容
耐火物の基礎講座Ⅱ	5/22 (金)	講義6「耐火物製造プロセス技術」 黒崎播磨株式会社 耐火物製造事業本部 窯炉製造事業部 備前転炉工場 マネージャー <small>さか い とも ひこ</small> 坂井智彦 耐火物の分類について紹介する。また、TAIKABUTSU入門書に沿って耐火物製造プロセス概論・各論について紹介する。
		10:35-10:45 休憩(10分)
		講義7「耐火物の用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 技術研究所 第1研究部 第2研究室 室長 <small>こ やけ たみ あつ</small> 小宅民敦 「耐火物入門書 第4版」に基づいて、鉄鋼、セメント、ガラスや非鉄分野について、その製造炉と使用される耐火物やプロセス概要について紹介する。
		12:00-12:45 昼食休憩(45分)
		講義8「耐火物施工副資材 - アンカーメタル -」 並田機工株式会社 生産本部 本部長 <small>にし の ゆう き</small> 西野有紀 アンカーメタルの品種、特殊、用途等の説明、熱間膨張用隙間材『ナミカラ一』の特徴等の説明及びアークスタッド溶接の紹介をする。
		13:25-13:35 休憩(10分)
		講義9「築炉技術の基礎」 株式会社広築 生産整備事業部 大阪営業所 所長 <small>おき た かず お</small> 沖田一夫 「TAIKABUTSU」入門書の内容に沿って、主に煉瓦積みについて築炉技術の基礎を解説する。
		14:50-15:00 休憩(10分)
		特別講演 「セラミックファイバーボードの耐久性の向上と工業炉リノベーション技術」 名古屋工業大学 環境材料工学科生命・応用化学学科・専攻 教授 <small>はし もと しのぶ</small> 橋本忍 健康上の問題からRCF（リフラクトリーセラミックファイバー）からAES（アルカリアースシリケート）ファイバーへ転換されつつある。低下した耐熱性の向上技術とこのファイバーボードを工業炉へ展開した場合の効果について紹介する。